



色彩を使った
心のケアを学ぶ

カラーセラピスト® 資格認定講座のご案内

カリリストスクール・ワムI.C.I



目次

- プロのセラピストになるために必要なこととは
- セラピストに求められること
- カラーセラピーとは
- 資格取得について
- カラーボトルを用いた方法ではありません
- セラピストになりたい人が抱く不安 Q & A
- セラピストの注意事項
- セラピストは寄り添う存在
- セラピストに求められること
- カラーセラピストになろう

【プロのセラピストになるために必要なことは？】

セラピーを仕事にするときに大事なことは、
実は、知識とかスキルだけではありません。



【プロのセラピストになるために必要なことは？】

それは、
「焦らないこと」
そして、
「諦めないこと」
です。

■ カラリストスクール・ワムI.C.I

A hand holding a black marker is writing the phrase "NEVER EVER GIVE UP." in bold, capital letters on a light blue chalkboard. The background of the slide features a large red rectangle on the left and a grey rectangle on the right, with a thin black horizontal bar at the top.

NEVER EVER GIVE UP.

セラピストに 求められる事



これは、セラピーそのものにも通じることです。
こころの問題は、1回のセラピーで何もかも
解決することはありません。

セラピーの直後は、なんとなく良い状態だったとしても、
またすぐに苦しい状態に戻ってしまうこともある。

そのため、セラピストも相談者と一緒に、一定の期間
苦しみを共有しなければならないこともあるのです。

セラピストに 求められる事



それでも、「相談者が少しでも楽になったらいいな」
と思えたら、セラピーを続けることができます。

1回で良くならないからと言って、セラピストがガッカリしてはいけません。
相談者と一緒に悩みながら、少しでも前に進む。
それがセラピーなのです。

焦らずに、どこまでも「人のもつ可能性」を信じて、
あきらめずに頑張れたら、きっと、プロのセラピストになれるでしょう。
自分の可能性と、相談者の可能性、どちらも信じて進んでくださいね。



カラーセラピーとは？

心の解放、心のサポートに「色」を用いる技法が、「カラーセラピー」です。

カラーセラピーというと、カラーボトルを用いた「オーラソーマ」を思い浮かべる方も多いのですが、**ボトルを使ったものだけが「カラーセラピー」ではありません。**

色彩を媒介とした対話をおこないながら、
相談者の気持ちを受け止め、悩みを解消したり、
不安な気持ちをサポートしたりする方法を、
広く「カラーセラピー」と呼びます。

資格取得 について

一般社団法人日本色彩環境福祉協会の認定校である
カリリストスクール・ワム I.C.I では、
オンラインで受講できる「カラーセラピスト®資格認定講座」を
開催中です。

短期間で、本格的なセラピー技法を学ぶことができます。

講師も、実際に学校やセラピールームで相談業務を行った経験のある先生方がそろっているそうなので、

カラーセラピーの資格に興味のある方にはおすすめです。

■ カリリストスクール・ワムI.C.I



カラーボトルを用いた手法ではありません

カラーボトルを用いた手法は、見た目がきれいなので、セラピールームを開きたい人には人気がありますが、たくさんのボトルが必要なため高額な費用がかかったり、少ないボトルで行うものでは、色によって意味が限定されていて、どうしても占いのようになってしまうというデメリットがあります。

そのようなボトルを使う方法ではなく、**カラーカードを選んだり、色彩コラージュという作品をつくる作業を通して、対話を行い、心を解放していくことを目指す技法**を開発したのが、一般社団法人日本色彩環境福祉協会です。

セラピストになり
たい人が抱く
不安

Q & A

Q :

カラーセラピストとして活動したいと思いますが、どんな相談者が来るかわからないので、怖くなってしまいます。

セラピストになりたい人が抱く不安

Q & A

A :

結論から言えば、「基本的に自分の手に余る相談者は来ない」と考えていいでしょう。

セラピールームを開くならば、ホームページを作ったり、ブログを書いたりして自分のセラピーや自分の人となりを表現していくことになります。

あなたのセラピールームに来る相談者さんは、あなたのホームページやブログを見て、「いいな」と思って来てくれているはずです。

もともと、セラピストとしてのあなたに魅力を感じて来てくれていますから、そこに不安を感じる必要はないのです。

セラピストの 注意事項



注意しなくてはいけないのは、
ホームページに「あれもできる。これもできる」と書いてしまうことです。

例えば、「重度のうつ病の人にも、私のカラーセラピーは有効です」というように書いてあれば、病院に通うレベルの状態の人が来る可能性もあるでしょう。

つまり、自分にできないことを書けば、
それは手に余る相談者が 来るかもしれないわけだから、不安になると思います。

ですから、セラピールームを宣伝したいと思うなら、
自分にできることや、自分が得意な相談の分野について書いておくことをお勧めします。

セラピストは 寄り添う存在



「ずっと主婦をしてきて、私が誰かの役に立つような話ができるでしょうか？」という方がいます。

これは、大きな思い違いで、
実は「そういうあなたの経験こそが、絶対に誰かの役に立つ瞬間がある」のです。

セラピーというのは、共通したセラピー技法を使いながら、あなた自身が癒し手になることです。

その時、あなた自身が「これまでの人生の中で、乗り越えてきた体験」が役に立つのです。

セラピストは、むやみにアドバイスをする存在ではありません。

でも、時には自分の体験を語ることで、相談者の気持ちを前向きにするお手伝いもできるのです。

セラピストに 求められる事

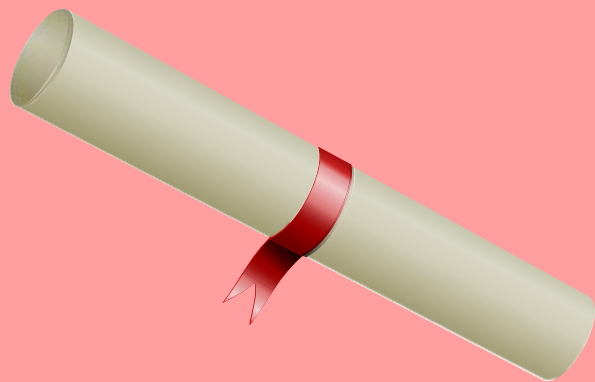


もし、あなたが主婦ならば、同じ立場の人に共感しやすいと思います。
つまり、そういう人があなたの相談者さんになりやすいと言えますね。
そんな風に考えれば、相談者を怖いという感覚を抱かなくてもいいのです。

また、女性のセラピストで、男性の相談者は受け付けたくないならば、
「女性専用セラピールーム」としてしまうのも、一つのやり方だと思います。

やってみないうちから、「こうなったらどうしよう」と考えすぎず、
「自分と似たような境遇の人をサポートするんだ」という気持ちで、
一歩を踏み出してもらいたいなと思います。

カラーセラピスト を目指そう



一般社団法人日本色彩環境福祉協会の認定校である
カリリストスクール・ワム I.C.I では、
オンラインで受講できる「カラーセラピスト®資格認定講座」を
開催中です。

短期間で、本格的なセラピー技法を学ぶことができます。

講師も、実際に学校やセラピールームで相談業務を行った経験のある先生方がそろっているそうですので、

カラーセラピーの資格に興味のある方にはおすすめです。

■ カリリストスクール・ワムI.C.I



ご一読頂きありがとうございます！